

学籍番号：204001 名 前：秋山翔太郎 Shotaro AKIYAMA

研究室：菅野研究室

R5年度 長岡造形大学 美術・工芸学科クラフトコース 卒業研究

研究テーマ 「人体の表現研究及び指輪と手の制作」

作品タイトル 「The hand」

H1490×D300×W350

素材：銀、樹脂粘土、歯、ボンド、盛り上げ剤、ラッピングワイヤ、アクリル絵の具
石塑粘土

目次

- 1 制作意図及び概念
- 2 制作技法
- 3 作品テーマとタイトルについて
- 4 各作品について
-
-
-
-
-

1 【制作意図及び概要】

私は幼い頃から人体について興味を持ち、作品を制作していく中でモチーフとして多く扱ってきた。彫金を専攻し、指輪やプレスレットなど身に纏う作品を制作していくうちに、逆に人体をモチーフにした装飾品を身に纏わせるという観念のもと制作する作品について興味を持ち、人体をモチーフにした作品の表現研究を行うことにした。

制作を進めていく中で、人体の中でも特に人の手と口腔の気色悪さ、不気味さに惹かれているのだと気づき、人体の表現研究としているが、今回は人体の中の手指と口腔のみにモチーフを絞り制作する事とした。

さらに、指輪を飾るための手の制作も合わせて行うことで、より不気味さや気色悪さの演出が狙えるのではないかと考えた為、手の制作も行うこととした。

2 【制作技法】

指輪はロストワックス casting で制作し、手は熱硬化性の樹脂粘土とラッピングワイヤを用いて制作した。展示台の赤肉のような質感の部分は、ボンド、盛り上げ剤、スチレン用のり、アクリル絵の具を全て同じ割合で配合して制作し、地面に接している展示台下部の

白い部分は石塑粘土で制作した。

ロストワックス鑄造で指輪を制作したことについて、ワックスを用いて制作することで手指や口腔が現す質感を正確に捉えられる事、「噛む」や「握る」といった体を使った動作を形として捉えられる点が、人体を表現するという制作においてより具体的にそれらを作品に映し出すことができると考えた為である。

樹脂粘土を用いて手を制作したことについては、実際に自身の皮膚を切り取り、自然乾燥や、熱風で乾かすなどの方法を行なってみたところ、樹脂粘土を焼成した質感に近かったため、熱硬化性の樹脂粘土を使用した。

ラッピングワイヤは手の皮膚下の血管の表現として用いた。コンピュータや高度電子機器において伝送制御や機器内配線として使用されるラッピングワイヤの用途と、血液の循環や凝固抑制を行う、人体内部に配線されているとも言える血管が密接に相似していると考えたためである。また、皮膚の下に薄ら見える血管の色合いを表現したいと考えたため本素材を使用した。

ボンドや盛り上げ剤を用いて展示台を制作したことについて、肉感を表現するための実験を繰り返した結果、木工用ボンド、盛り上げ剤、スチレン用のり、アクリル絵の具を全て同じ割合で配合し攪拌する事で、伸縮性、硬化性、光沢性がより赤肉に近いものに仕上げる事ができたため本素材を用いて制作した。

石塑粘土を用いて展示台下部の地面との設置面を制作したことについて、握り拳を石塑粘土に押し付けることで模様を作り出した。

3【作品テーマとタイトルについて】

作品のテーマは「gross」である。不気味な、気味の悪いという意味での主題とする。手指や口腔の気色悪さや不気味さを表現する上で、最も的確であると感じたため「gross」を本作品の表現の中心に据えた。

作品のタイトル「The hand」は、「手」というそのままの意味で設定した。本作品を鑑賞する際、hand という見たままの情報をタイトルとすることで、見たもの以上の情報をタイトルから掴めない不気味さを表している。

【各作品について】

ロストワックス鑄造の制作における表現性の豊かさを活かし、様々な表現方法を用いて各個の指輪毎にタイトルを設定し制作を行なった。

以下、親指から小指の順でタイトルと作品詳細を陳じる。

親指

-作品タイトル-

「Sum」

本指輪は目から下のみの顔を切り取って見た時の気持ち悪さを表現した。

-制作方法- 蠟型を切削しロストワックス鑄造により制作。

-サイズ-21号

-素材-銀



人差し指

-作品タイトル-

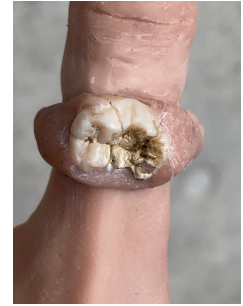
「decayt」

歯が虫歯によって浸食されているという口腔内の気味の悪さを表現した。

-制作方法-歯を樹脂粘土で留めて制作。

-サイズ-14号

-素材-銀、歯、樹脂粘土



中指

-作品タイトル-

「ID signet」

印台リングを基本の形として制作した。印台リングが印鑑、捺印など身分証明として使われていた指輪という歴史を踏襲し、「歯型」という唯一無二の形で身分証明するものとして表現した印台リング。

-制作方法-歯の型を取り、蠟原型に熱した歯の型を押し制作。

-サイズ-18号

-素材-銀



薬指

-作品タイトル-

「Fiinngerr」

指をモチーフにして指輪を制作した。左手薬指に装着する指輪は愛や絆を深めるといった意味を持つとされており、左手薬指に装着する指輪が持つ意味を、指で生々しく繋ぎ止めている様子を表現した。指が指を装飾するといった違和感が醸し出す不気味さも合わせて表現している。

-制作方法-ロストワックス鑄造後、硫化着色により着色

-サイズ-17号

-素材-銀



小指

-作品タイトル-

「Killer chew」

-制作方法-蠟型を犬歯で噛み、鑄造後に硫化着色により着色。

「噛む」という日常動作を指輪として表現した作品。

-サイズ-9号

-素材-銀



ブレスレット

-作品タイトル-

「grinp」

-制作方法-シートワックスを握り出来たシワや膨らみをブレスレットのパーツとして表現

した。

「握る」という動作をそのまま形として表す事で、手指が表す形の情緒を表現している。

-サイズ-180mm

-素材-銀、革紐